

INFORMATION

仏事のご案内

3.11

東日本大震災一周忌追悼の鐘

14時46分に追悼の鐘が鳴ります

池上本門寺（大田区池上2-11-5）では3月11日(日) 東日本大震災一周忌法要を行い、震災発生の同時刻14時46分に「追悼の鐘」を鳴らします。当山萬福寺、そして全国のお寺で鳴らします。梵鐘の音が聞こえたら、皆様手を合わせてお祈りしましょう！

3.20

春彼岸法要（心の法話）

午後1時から法話、2時から法要

「寒さ暑さも彼岸まで」と言われるように四季のはっきりしている日本では、彼岸は1つの区切りでもあります。春分の日、太陽が真東から上って真西に沈みます。西方の彼方にある阿彌陀如来の極楽浄土に思いをはせながら、ご先祖様からいただいた今ある幸せに感謝し、ご家族でお墓参りしましょう。

今年は3月17日(土)が彼岸入り、20日(火) お中日（春分の日）、23日(金) 彼岸明け、です。

4.8

花まつり

午前11時から

4月8日はお釈迦様の生誕を祝う「花まつり」が行われます。屋根や四方を花で飾った花御堂をつくり、その中に釈尊の誕生仏を安置し、お釈迦様の頭に甘茶を注いで讃仏します。甘茶は釈尊誕生を喜んだ竜王が、甘露の雨を釈尊の頭に降らせたという伝説によるものだそうです。当日は甘茶のティーバックを差し上げますので、ご家族皆様でご賞味ください。

囲碁をやりませんか

先代のご住職が使われていた囲碁・盤があります。法事のときなどにご利用ください。

なお、囲碁会の開催もできますので、ご希望の方は萬福寺受付へご相談・お申し出ください。



本尊阿彌陀如来
三尊仏の沐浴・御開帳
平成23年12月14日(水)

午 前11時から本尊阿彌陀如来三尊仏の沐浴(御身拭い供養)が執り行われました。当山の御本尊様は、日本で2番目に大きい由緒ある三尊仏で、鎌倉時代初期の立派な金銅仏です。中央に大きな阿彌陀如来立像、右に少し小さい観音

12 月31日午後1時から本堂に
おいて年末の法要、そして、東日本大震災等々の1日も早い復興とご家族皆様の無病息災、新年の開運を願って、正月大般若会御祈禱諷經の法要が行われ、ご住職様をはじめ僧侶の方々



い年の幸せを祈ってつく鐘にも心がこもり、梵鐘の音は力強く響きわたり清々しい気持ちで新年を迎えることができました。(合掌)
なお、正月大般若会御祈禱諷經は正月三が日にも行われました。

除夜の鐘つき
だいばんにやえ
正月大般若会御祈禱諷經
ふざん
平成23年12月31日(土) ~
平成24年1月3日(火)

菩薩立像、左に勢至菩薩立像があります。当日はこの三尊仏をゆつくり拝観できました。なお、御開帳は12月14日と正月3日間行われました。

により「大般若波羅密多經」(全600巻)の「転読」、經典をパラパラめくり読誦するお姿は荘厳で身が清められる思いでした。
その後、恒例の「除夜の鐘つき」が行われましたが、当日は冷たい北風も吹かずお天気に恵まれました。約400名の参詣者は一人ずつ鐘楼門の階段を上がり、全員が鐘をつくことができました。今年は震災・津波・原発事故、なでしこジャパンの活躍など悲喜交々ありました。新しい年の幸せを祈ってつく鐘にも心がこもり、梵鐘の音は力強く響きわたり清々しい気持ちで新年を迎えることができました。(合掌)
なお、正月大般若会御祈禱諷經は正月三が日にも行われました。

御葬儀・法要の連絡は
萬福寺本堂総受付まで

法要は「追善法要」ともいい、故人が浄土で安楽であるようにと願いを込めて行うものです。年忌法要は葬儀とは違い予定が立てられます。できれば半年前、少なくとも3カ月前には準備を始めましょう。

梶原殿の会場使用料（通夜・葬儀、2日間）

・檀信徒 10万円～20万円 ・一般 20万円～30万円

※予算は密葬、本葬のご人数で異なります。

御葬儀・法要のお問い合わせ・お申し込み

萬福寺本堂総受付 ☎03-3771-2025

編集後記

春の季節となりました。「年年歳歳 花相似たり 歳歳年年 人 同じからず」（年ごとに春はめぐり、花は同じように咲くのに、その年ごとにその花を見る人間は同じではない）と中国の古典詩にありますが、昨年の大震災以来、昔の人のうたうこの世の無常を切実に感じさせられるような気がいたします。

今年の春のお彼岸も、まためぐってまいりました。今年、萬福寺での行事も「写經会」など新しいものが増えました。つついあわたしく過ごしがちな毎日ですが、心落ち着かせるためのひとときを、菩提寺の萬福寺で体験されてはいかがでしょうか。

また、日頃お感じのことなど何でも結構です。「萬福寺だより」へのご投稿や、お寺・護持会へのご意見をお待ちしております。